

福生 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 山川出版社『近代から現代へ』 ）

教科 歴史総合 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察【思考力、判断力、表現力等】したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度【学びに向かう力、人間性等】を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。さらに諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 結びつく世界 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、近代化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の周辺地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できるように指導する。	1. アジア諸地域の繁栄と日本 2. ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	【知識・技能】16世紀のアジア各国の大帝国と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解している。 【思考・判断・表現】アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。	○	○	○	5
	2 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、などを多角的に考察できるよう指導する。	1. ヨーロッパ経済の動向と産業革命 2. アメリカ独立革命とフランス革命 3. 19世紀前半のヨーロッパ 4. 19世紀後半のヨーロッパ	【知識・技能】大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。 【思考・判断・表現】産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
		5. 19世紀のアメリカ大陸 6. 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 7. 中国の開港と日本の開国	【知識・技能】アメリカ合衆国の西漸運動について理解している。 【思考・判断・表現】イギリスがフランスとの対立やインドの諸勢力との戦いによって、インドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】開国を転換点として生じた変化などについて、中国と日本違いに注目し意欲的に検討しようとしている。	○	○	○	7
	3 明治維新と日本の立憲体制 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解できるように指導する。	1. 明治維新と諸改革 2. 明治初期の対外関係 3. 自由民権運動と立憲体制	【知識・技能】明治新政府が、諸外国と具体的にどのような関係を築こうとしたかをまとめている。 【思考・判断・表現】日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかを、新政府側、諸藩側の立場にたって意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 山川出版社『近代から現代へ』 ）

教科 歴史総合 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察【思考力、判断力、表現力等】したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度【学びに向かう力、人間性等】を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。さらに諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	4 帝国主義の展開とアジア 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できるように指導する。	1. 条約改正と日清戦争 2. 日本の産業革命と教育の普及 3. 帝国主義と列強の展開 4. 世界分割と列強の対立 5. 日露戦争とその影響	【知識・技能】明治政府の条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解している。 【思考・判断・表現】帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究しようとしている。	○	○	○	10
	5 第一次世界大戦と大衆社会 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に第一次世界大戦後の国際協調体制と大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できるように指導する。	1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. 国際平和と安全保障	【知識・技能】第一次世界大戦によって成立した総力戦体制とその影響による社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】各国が国際協調路線をとった背景を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会と比較しながら意欲的に検討しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
		3. アジア・アフリカ地域の民族運動 4. 大衆消費社会と市民生活の変容 5. 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	【知識・技能】第一次世界大戦後のアメリカの情勢とアメリカ社会のあり方がどのように大量消費社会に結びついていったのかを理解している。 【思考・判断・表現】図やグラフを使いながら、民衆のエネルギーがどのような動きとなったか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会と比較しながら意欲的に検討しようとしている。	○	○	○	7
	6 経済危機と第二次世界大戦 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して活動を通して、世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策や第二次世界大戦の展開を基に理解できるよう指導する。	1. 世界恐慌の発生と各国の対応 2. ファシズムの台頭 3. 日本の恐慌と満洲事変	【知識・技能】第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 【思考・判断・表現】日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 山川出版社『近代から現代へ』 ）

教科 歴史総合 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。さらに諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期		4. 日中戦争と国内外の動き 5. 第二次世界大戦と太平洋戦争	【知識・技能】第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 【思考・判断・表現】日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。	○	○	○	5
	7 戦後の国際秩序と日本の改革 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して活動を通して、冷戦の始まりとアジア諸国の動向を基に第二次世界大戦後の国際秩序を理解できるように指導する。	1. 新たな国際秩序と冷戦の始まり 2. アジア諸地域の独立 3. 占領下の日本と民主化	【知識・技能】第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。 【思考・判断・表現】国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							70